



矢野特殊自動車の新型のカーボンニュートラル対応車両

矢野特殊自動車が脱炭素事業部、営業部から各  
素化取り組み開始の部12人で編成したチーム  
は2023年4月、柴が、カソリや電気とい  
田和典取締役をトップに、たな浦エネルギーの副  
製造部や資材部、サービ、減に乗り出した。

冷凍車やタンクローリー、車両運搬車など  
輸送用機器メーカーの矢野特殊自動車（福岡  
県新宮町）は6月、カーボンニュートラル  
（温室効果ガス（GHG）排出量削減ゼロ、  
CN）に取り組むための中長期事業計画（C  
Nロードマップ）およびアクションプランを  
策定した。計画策定では、中小企業支援設備  
機構（中小機構）九州本部（福岡市博多区）  
によるハンスオン支援が後押しした。

## 脱炭素化へ中長期計画

### 矢野特殊自動車



矢野特殊自動車のカーボンニュートラル対応の塗装設備

さらに矢野彰一社長と 菅野昭一と強調する。G  
柴田取締役が講演会や勉強会に参加していたこと  
をきっかけに、中小機構九州本部のハンスオン支援を受けるといつながった。専門家が企業を訪問し、中長期計画、投資対効果の算出、短期的な省エネ改善の課題に合わせて対応する制度だ。同社の場合、中小企業診断士の北林アキラが23年9月から10カ月間、計10回にわたり支援を実施した。北林アキラは同社計画について「未来に向けた具体的な活動にう取り組むが、社内共有した」と評価する。

「製菓品の開発や設計、サービ」を反映する」と意気込む。具体的には工場の塗装ブースの更新が始めた。また5月の「ジャパントラックショー2024」に出展した新製品車両は

## 投資効果・省エネ改善… 中小機構が策定支援



矢野特殊自動車で開かれたCNロードマップ・アクションプラン策定の発表会（中小機構提供）

すべてCN貢献モデルとつながる構造とし、燃料消費を減らして実現に向上や輸送効果のアップにつける。

### 企業に専門家派遣 3回無料

中小機構はCNに関する支援において、企業の取り組み段階に応じた事業を用意する。セミナーや講習会に加えて、関心を持った事業者の相談を受けて助言する事業もある。相談は無料で予約制。中小機構九州本部のホームページで対応日を公開している。